

保護者等からの 放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表：令和 7年 12月 22日 事業所名：放課後等デイサービス なないろの空 利用児童数：令和 7年 12月 1日 14名 回収数：100%

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	① 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか	14					十分なスペースを確保し、活動によって部屋を分ける等の工夫しています。
	② 職員の配置数は適切であると思いますか	10	2		2	「はい」にしたが、よく分かっていない。	法令で定められている基準より多い職員を配置しています。
	③ 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12			2		完全バリアフリーではありませんが、手すりや滑り止めを各所に設置する等の工夫をしています。遊びの部屋、活動の部屋、おやつを食べる部屋、鞄を置く部屋と、用途に応じて部屋を使い分けています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか	14				仕切るのが良いとおもう。	アットホームな雰囲気作りを心がけています。日本家屋なので襖で部屋を仕切って使うこともできます。不要なものは置かないようにし、物の場所を決めて取り出しやすいようにしています。活動内容や状況に合わせて使用する部屋を変更しています。
適切な支援の提供	⑤ 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか	14					日頃から児童の様子、話を耳を傾け、それぞれに合った必要な支援ができるよう努めています。
	⑥ 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか	13			1		HPに掲載している支援プログラムに沿った内容で、計画を作成し支援につなげています。
	⑦ 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか	14					児童の日々の様子や保護者からの聞き取りを行い、ニーズに合った支援計画が作成できるよう努めています。
	⑧ 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか	13			1		本人支援は日々の支援の中で、家族支援は日々のやり取りを通じて、移行支援に関しては事業所内だけで留まらないように、意識的な情報共有に努めています。
	⑨ 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか	14					個別支援計画をもとに支援評価表を作成し、毎日支援評価を記録することで、目標への振り返りと再確認をしています。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	(10) 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	1		1	毎回何をするのか、子供が楽しんでいる。	個別活動や集団活動での、SST、感覚統合、ビジョントレーニング等プログラムが固定化しないよう年間計画を立て、職員がチームとなり企画立案しています。また、同じプログラムの中でも個々の特性に合わせたプログラム内容を計画しています。
	(11) 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか	1	2	2	9		現在は予定しておりませんが、図書館や公園等へ出かけた際、地域の児童と交流する機会があります。
	(12) 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14					利用開始時にご説明をさせていただいております。また、事業所玄関に提示してあり、質問があれば都度お答えをしています。変更があれば都度、書面にてご説明させていただいております。
	(13) 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか	14					個別支援計画変更時には、都度ご説明させていただいています。
	(14) 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか	6	1	3	4		現在ペアレント・トレーニング等は行っていません。事業所で行っている対応の仕方を面談などで提案・説明しています。今後、保護者等が参加できる研修の機会や情報提供を行っていく予定です。
	(15) 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができるていると思いますか	14				小学校と情報共有していただき、ありがとうございます。	児童の発達状況や課題について保護者と情報共有し合い、共通理解に努めています。
	(16) 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14				毎回親身になって話を聞いてもらい、とても有難いです。	面談は定期的な実施に加えて、保護者からのご希望がある際にも行っています。保護者からの相談に対し助言を行っています。
	(17) 個事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか	14					「受容」「傾聴」「共感」を意識し支援しています。
	(18) 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか	1	1	6	6		現在父母の会の活動や保護者会等の交流の場は設けておりません。保護者からご希望があった場合には検討させていただきます。
	(19) こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか	13	1				日々の送迎時のやりとりや家族支援の中では心理士も含めてお話をする機会を設けています。保護者から心配なことやお悩み等をお聞きした際は、チームで共有、話し合いを行い、助言や支援を行っています。

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	(20) こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか	14				直接のやり取りはもちろん、LINEや画像を送ってくれるので、様子が分かりやすくて助かる。	児童には絵カードやスケジュールカード等を用いています。また、日頃から会話をする機会を設け、「先生あのね」の活動などで、児童の心に耳を傾けるよう心掛けています。保護者には、送迎時やメール、電話等でお伝えしています。それに合わせた方法で伝えられるよう工夫しています。
	(21) 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか	13	1				お便りやホームページに活動計画や活動内容、自己評価等を掲載しています。適宜、避難訓練の報告もしています。
	(22) 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか	14					契約時に個人情報利用についてご家族に説明し、書面にてご確認いただいています。事業所では、重要書類等は鍵付きのロッカーにて保管し、守秘義務厳守の配慮をしています。
満足度	(23) 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか	14					必要なマニュアルを策定しています。マニュアルに沿った避難訓練を年に数回実施しており、もしもの場合に備えて、一斉メール等、保護者すぐに連絡できる体制を整えています。
	(24) 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	14					ホームページの活動計画に記載している通り、年間計画を立て避難訓練を実施しています。また、月1回職員のみでの避難訓練も行っています。
	(25) 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14					年に1回、安全計画についてのお知らせを書面で配布しており、計画マニュアルに沿って実施しています。
	(26) 事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	11	2		1	事故等が起きたことがないので分からず。	事故等(怪我)が発生した際には、速やかに状況をお伝えしています。
	(27) こどもは安心感をもって通所していますか。	12	2			なないろでは、普段の自分が出せているとおもうので、とても安心しているとおもう。	児童が楽しく通えるよう日々の支援に努めています。
	(28) こどもは通所を楽しみにしていますか。	12	2			毎回利用日には「今日はなないろだよ」と、嬉しそうに教えてくれる。	
	(29) 事業所の支援に満足していますか。	14				保護者や兄弟のことも気にかけてもらえて嬉しい。	児童の特性を理解し、保護者や学校、相談員等と連携し、児童にとってよりよい環境を提供できるよう、療育を通して成長できるよう、またスタッフも子どもと共に成長していくよう今後も努めています。